



事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-50	講座名	りす山の自然学校
記載日		団体名・企業名	守山リス研究会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>名古屋市東谷山198mに棲息する野生の二ホンリス・ムササビを含めた哺乳類の調査・保全のためにおとなと一緒に行動し考えることができるようにする、そのため野生二ホンリスを捕獲観察して現場で観察を行い、但しそれだけに限らず、野生生物の痕跡観察と観測機器の操作に触れ、また季節・植生に応じた生物相の観察を行い東谷山の自然環境の理解を深めるとともに、非日常の中の冒険心と安全確保の基本を養う。今回からは講座の後に自宅の周囲で観察を行う際の方法や心構えなども解説に加えている。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
2/18 東谷山の植生と動物の関係について解説		1/21 捕獲したリスを観察、その後頭に残ったイメージを参加者に説明してもらいます。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>コロナ過が過ぎつつあるなお、安全面に配慮して実施をしています、地権者と話し合いを重ね、入山人数の抑制と集合場所の変更をしながら開催をしてきました。会員の得意とする分野については説明パートを分担したり新たに役割を配分しなおしてより平易な説明が出来るように努めています。本物の自然に触れる環境と参加者同士の気づきや交流体験を提供することを目的としてましたがテーマとする動物のサンプルが捕獲できないケースが相次ぎました。ただ参加者の声を聞いていると動物が自宅の周りで見る事が出来るもしくは自分で観察をしたいという声も実施後に聞くことも出来、参加者の自然観察調査の第一歩の力添えができたのかなとも感じています。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			